

令和7年度 第1回 宮原小学校学校運営協議会議事録

さいたま市立宮原小学校

1 日時・場所 [日時] 令和7年6月5日(木) 10:30 ~ 12:30
[場所] 第1会議室

2 出席 委員長 森下 佳代 宮原児童センター館長
副委員長 飯島 徹夫 宮原公民館長
委員 中山 和義 宮原地区自治会連合会副会長
清水 猛 鍛冶自治会長
井上 哲典 大宮交通安全協会宮原支部
嶋村 茂 宮原地区社会福祉協議会会長
清水 浩 近隣幼稚園・保育園代表
清水 ヨシ子 宮原地区民生委員・児童委員協議会長
白石 王恵 チャレンジスクール教室コーディネーター
佐藤 幸枝 主任児童委員
市川 牧香 宮原小学校PTA会長
井上 雅史 宮原小学校校長
長沼 幸男 宮原小学校学校地域連携コーディネーター

欠席 委員 青木 洋 宮原中学校学校地域連携コーディネーター

1 次第

- (1) 開会
- (2) 校長あいさつ
- (3) 自己紹介
- (4) 委嘱状交付
- (5) 委員長・副委員長選出
 - 委員長： 森下 佳代 宮原児童センター館長
 - 副委員長： 飯島 徹夫 宮原公民館長
- (6) 宮原小コミュニティ・スクールについて
 - コミュニティ・スクールの設置について【教頭】
 - ・宮原小学校コミュニティ・スクールの役割
 - ・学校運営協議会委員について
 - ・学校運営協議会開催日及び主な内容について

○ 学校経営方針、学校自己評価システムシートについて【校長】

- ・ 学校教育目標が、児童にも分かりやすいものとなるよう、それぞれに短い合言葉を設定し、繰り返し児童へ投げかけている。

たがいに努める子 → 「やる気」

たがいにきたえる子 → 「元気」

たがいに手をとる子 → 「勇氣」

- ・ 宮原小学校といえば「せんだんの木」であるが、学校教育目標も同様に、保護者や地域に浸透するようにしていく。

【委員】

- ・ 昨年までと比べて、短縮日課が増えているのはなぜか。

【校長】

- ・ 国が定める標準授業時数を大幅に上回るこたながいように、適切に計画したことによるものである。また、子どもたちに過度な負担にならないよう配慮している。
- ・ 適切に計画したことにより、教職員の負担軽減にもなり、働き方改革にもつながるものと考えている。

【委員】

- ・ よい取組であり、近隣小学校にも広がっていくことを期待する。

- ・ 学校自己評価システムシートは、ホームページで公開するものでもある。内容については、大きく5つの柱立てで構成されており、1 学びの質の向上に関する取組、2 子どもの発達や心のサポートに関する取組、3 地域とともにある学校づくりに関する取組、4 教育環境の整備に関する取組、5 教職員のキャリア形成に関する取組であり、今年度に取り組みたいと考えていることである。

○ いじめ防止基本方針について

- ・ 子どもの観察や保護者との面談等を通じて、いじめを早期に発見し、対応していく。

2 議事概要

(1) 熟議 テーマ：「子どもと地域の方が顔見知りになるために」

○ 家庭と地域との関わりについて

- ・ 今の時代は、子どもに十分に時間をかけることができない家庭もある。地域で補うことも大事だと考える。あいさつなど、大人が子どもに声をかけることで、自分に関心をもっている人がいるということ子どもに感じてもらうようにしていくことが大切ではないか。

○ 地域と学校とのかかわりについて

- ・校外で何かあったときや、地域の方が子どもを見て心配なことがあったときに、学校に伝えられるようにしていくことが大切だと考える。
- ・自治会、子ども会、PTAが連携して行う地域のまつり等について、学校で参加の呼び掛けを行うことで、地域の方と子どもたちが触れ合う機会がより広がっていくのではないかと考える。

○ その他

- ・学校、家庭以外の第3、第4のコミュニティがあるとよい。
- ・子育てをする保護者に、子どもと保護者自身を認める言葉かけを行うことで、心穏やかに家庭生活を送ることができることから、地域で肯定的な言葉かけを増やしていくとよい。

3 諸連絡・相談

(1) 今後の予定

- 第2回：令和7年11月27日（木）
- 第3回：令和8年 2月17日（火）

4 閉会

閉会后、授業参観・給食試食を実施